

2024年4月23日

福岡県北九州市環境局作成の小学生向け学習動画に 当社の人工木「テnderウッド」が 廃プラスチックの再商品化の例として紹介されました

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 兼 CEO 馬場浩志、以下「当社」）の製品人工木「テnderウッド」の製品が、福岡県北九州市で環境局が作成した2024年4月から小学4年生の社会科の事業で用いられる環境学習動画にて廃プラスチックの再商品化の例として取り上げられました。



北九州市環境局作成 環境学習動画



廃プラスチックを使った柵や縁石（動画画面）

当社の人工木「テnderウッド」は原料にリサイクルされたプラスチックを使っています。また経年変化による腐食や退色にもすぐれているため、環境配慮と耐久性を兼ねた製品で多くの公園などで採用されています。



<https://www.sekisuijushi.co.jp/products/artificialwood/product/tenderwood/>

福岡県北九州市では昨年10月から製品プラスチックの資源回収を始められています。このたび小学生向けのプラスチックリサイクルに関する学習動画を制作されました。動画は6分程度で主に小学4年生の社会科の授業で用いられる予定です。

- ていたんX (旧: Twitter)
https://twitter.com/teitan_kita9?lang=ja
- 北九州市環境ミュージアム
<https://virtual-eco-museum/>



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

■ Instagram で製品事例を紹介しております

[積水樹脂 公式 Instagram](#)

■ 積水樹脂グループ note ではグループの取組みなどを紹介しております

[積水樹脂グループ note](#)

当社についてみなさまにもっと知って頂くために様々な情報を発信していく予定です。

■ 本件に関するメディアからのお問い合わせ

積水樹脂株式会社 法務・広報部 土井 sjc_info@sekisuijushi.co.jp